

令和6年度 知財力開発校支援事業
年間指導報告書別紙 ～年間指導内容調査票～

この調査は、令和6年度 知財力開発校支援事業に参加された学校の皆様に、年間を通じてどのような資料を使用されていたのか、また、どのような指導をされていたのかを伺うとともに、指導を受けた生徒・学生にどのような変化が見られたのかを調査させていただき、今後の当事業に役立てていくことを目的としております。

なお、皆様の回答の集計結果は、当館ホームページで公開予定です。過去の報告書は以下のURLをご参照ください。

「取組に関する情報(採択校・取組報告書)」

<https://www.inpit.go.jp/jinzai/educate/chizairyoku/report.html>

何卒、ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

【提出先】 事業運営事務局：
(担当：)

〒

TEL： E-mail：

【提出締切(提出必須)】 令和7年2月3日(月)まで

以下、事項について、記載をお願いします。各項目横の黄色いセルでは、該当するものを選択してください(プルダウン式)(該当ない場合空欄)
また、緑色のセルには自由にご記入ください。緑色のセルの高さは、自由に広げていただいてもかまいません。

【選択肢(プルダウン)について】

・非常に効果、効率が良かった	「5」を選択
・比較的效果、効率が良かった	「4」を選択
・どちらともいえない	「3」を選択
・あまり効果、効率が上がらなかった	「2」を選択
・効果、効率が上がらなかった	「1」を選択

学校名	
学校番号	
担当教員名	

《◆1. 本事業における指導内容について》

問1. 今年度実際に行った指導内容について、知財の学習・活用の観点から得られた成果について評価をして下さい。
(実施した指導内容についてのみご記入いただければ幸いです)

(1)授業(座学)	
(2)外部講師による講演会・セミナー	
⇒その依頼先と講演・セミナー等の内容を具体的に記載してください。(必須)	
(3)討論会(グループディスカッション、ディベート)	
(4)身近な話題、ニュース報道・新聞記事等による興味付け	
(5)アイデア創出(KJ法、ブレインストーミング、TRIZ等)	
(6)生徒主体の活動・課題解決学習(PBL)	
(7)企業・機関・税関等への訪問学習	
⇒その訪問先・訪問目的を具体的に記載してください。	
(8)販売実習	
(9)創造製作実習・ものづくり体験(主として特許関連)	
(10)オリジナル商品・ブランド開発実習(主として商標・意匠関連)	
(11)地域の企業・団体・自治体との連携活動	
⇒その連携先・連携内容を具体的に記載してください。(必須)	
(12)校内における他学科との連携	
⇒その連携先・連携内容を具体的に記載してください。(必須)	
(13)他校との連携	
⇒その連携先・連携内容を具体的に記載してください。(必須)	
(14)実際の特許・商標・意匠等の出願	
⇒特許・意匠・商標等の種別、出願経緯の概要を記載してください。(必須) 例)・パテントコンテストで入賞し、生徒が特許権を取得した。 ・地域企業と連携し開発した商品の商標について、企業から出願し権利取得してもらった。 ・学校開発商品の商標について、県より出願し、権利取得した。	
⇒出願された特許・意匠・商標の件数及びその出願番号又は登録番号を記入してください(必須) 取得予定の場合には、その旨を記載いただき、番号が判明し次第お知らせください。	
(15)模擬出願体験	
(16)J-PlatPatの利用・検索実習	
(17)特許分析(パテントマップ作成等)	
(18)生徒／学生の評価	
(19)試験・小テスト	
(20)レポート提出	
(21)起業化教育(アントレプレナーシップ、マーケティング企画等)	
(22)生徒による他生徒、児童への指導体験	
(23)発表会・広報誌(知財新聞や知財メール等)の編集・発行	
(24)外部のコンテスト・競技会等への参加	
⇒コンテストの名称を具体的に記載してください。(必須)	
(25)学内の発明等コンテストの実施	
(26)法令・ルール遵守(コンプライアンス)教育	
(27)知的財産(権)に関する検定の受験	
⇒その検定の名称を具体的に記載してください。(例:知的財産管理技能検定)(必須)	
(28)その他(具体的に記載してください。)	

問2. 今年度新たに開発または導入した指導内容があれば、ご記入ください。(指導資料関係は、問3(4)に記入下さい。)

⇒具体的に記載してください。

問3. 使用した学習用資料について記載してください。
(1)INPIT等発行の下記テキストのうち、使用されたテキスト及びその効果はいかがでしたか。

(a) 知的創造活動と知的財産	
(b) 未来をつくるあなたへ	
(c) MIRAI—未来をつくる	
(d) アイデア活かそう未来へ	
(e) 産業財産権標準テキスト(発明推進協会が販売する各編を含む)	

(2) 上記テキストのうち、使用された箇所はどの箇所ですか。
⇒章・節・項等をそれぞれのテキストの記号ごとに記入ください。
(例: (a) 第1章第1節、(b) p44～59など)

(3) 上記(a) から(d) の各テキストのうち、内容・構成に関してご意見・ご要望がありましたら、それぞれのテキスト(又はその番号)ごとに具体的に記入してください。

(4) CD、DVD、webサイト等を副教材として利用された方にお伺いします。

⇒活用したCD・DVD・webサイト等のタイトルを具体的に記載してください。

⇒CD・DVD・webサイト等を活用したことにより、どのような学習効果がありましたか。

(5) INPIT発行以外の学習用資料で、特に効果の高かった資料等を記載してください。

(6) 新たな指導資料を開発した、または今までの指導資料を改良した場合、具体的に記載してください。

問4. 本事業の取組を学校内に導入して行く過程で、学校内外等において苦労された点とそれを克服するためにとられた方策等がございましたら、記入してください。

⇒具体的に記載してください。

問5. 本事業の取組を学校内に導入し実施して行く中で、生徒・学生の成果を上げるために工夫された点等がございましたら、記入してください。

⇒具体的に記載してください。

《◆2. 指導の成果等について》

問6. 本事業の取組を実施する前と比べた変化についてお伺いします。

(1) 取組の中で、生徒・学生が興味を持ったのはどのようなことでしたか。

(2) 生徒・学生等のアイディアにより、今年度の取組に新たに取り入れたものはありますか。

(3) 生徒・学生の知的財産権制度等に対する理解度の変化等をどのような手法で計られてますか。

(4) 生徒・学生の知的財産権制度等に対する理解について、具体的にどのように変わりましたか。少なくともひとつ事例を挙げてください。

問7. 今年度パテントコンテスト／デザインパテントコンテストに応募された学校にお伺います。

(1) 学校で応募作品についてのテーマ等を設けられておりましたら、記入してください。

(2) 応募作品の作成において、生徒・学生にどのような指導をされましたか。

問8. 今年度パテントコンテスト／デザインパテントコンテストに応募されなかった学校にお聞きます。

(1) 応募しなかった理由を記入してください。

(2) 応募するにあたって不都合・障壁がありましたら記入してください。

(3) 来年度応募する意思はありますか。

(4) (3)で応募しないとした学校に伺います、その理由について教えてください。

《◆3. 本事業に参加された感想、意見》

問9. 今年度に本事業へ参加されたご感想、ご意見をお聞かせください。
⇒取組みを実施した中で気づいたこと、今後の取り組みへの希望や本事業に対する感想・意見等があれば、具体的に記載してください。